

令和6年産りんご着果状況調査結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本年産りんごの着果状況を調査し、高品質りんご生産に向けた指導に活用する。

(2) 調査期間 令和6年7月9日(火)～10日(水)

(3) 調査地点 72地点(津軽64、県南8)

(4) 調査品種 ふじ、つがる、ジョナゴールド、王林

(5) 調査方法等

1樹当たり枝齢5年程度の結果母枝を東西南北の4枝選定し、各枝25頂芽の計100頂芽について、着果数、障害果数を調査。

(6) 調査機関

全国農業協同組合連合会青森県本部、公益財団法人青森県りんご協会、地方独立行政法人青森県産業技術センターりんご研究所、県

2 調査結果

- ・主力品種のふじで32.9%、つがるで39.3%、ジョナゴールドで38.2%、王林で39.7%と、いずれの品種も標準的な着果程度である25%から29%を上回った。
- ・一部園地でつがるにさび果が見られた。

<着果状況>

品種名	着果率			標準的な着果程度
	本年	平年	前年	
ふじ	32.9%	33.8%	32.9%	25%
つがる	39.3%	37.9%	36.6%	29%
ジョナゴールド	38.2%	35.1%	33.5%	29%
王林	39.7%	38.2%	36.7%	25%

注) 平年値：平成26年～令和5年(10年間)の平均